

団体名	神奈川考古同人会
図書・雑誌名	<p>■『神奈川考古』第 56 号 2020 年 5 月 13 日刊行 最新号</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砂田佳弘「相模野細石器出現期の研究現状と課題 2020」 ・御堂島正「黒曜石製石器の踏みつけ痕跡の再検討—ブラインドテストの結果を受けて—」 ・白石浩之「石鏃の出現にかかわる諸問題—関東地方における縄文時代草創期初頭を中心として—」 ・山本暉久「転換点としての縄文時代中期終末期の歴史的評価—近年の「階層化社会論」「社会複雑化論」との対比を通じて—」 ・野坂知宏「環礫方形配石遺構の再検討—伊勢原市子易・大坪遺跡と相模原市青根馬渡 No.4 遺跡事例の比較から—」 ・岡本孝之「ハヶ岳山麓戦場考—長野県諏訪郡における磨製石鏃の考古学的意義—」 ・村田文夫「御野国加毛郡半布里の人びと—大宝2年(702)戸籍の歴史人口学的解析—」 <p>■『神奈川考古』第 55 号 2019 年 5 月 17 日刊行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御堂島正「黒曜岩製石器の使用痕跡に及ぼす凍結融解作用の影響」 ・山本暉久「貯蔵穴の廃棄と埋葬・儀礼行為」 ・阿部友寿「関東南部における住居と墓の関係(5) 生と死の回帰」 ・渡辺千尋「神奈川県内出土の台状土製品について」 ・板垣優河「堅果類食料化の実験考古学」 ・村松 篤「弥生時代遺構出土の打製石鏃 神奈川県内における遺構出土資料の検討」 ・松田光太郎「古代以前の粘土採掘坑と採掘粘土(2) 関東地方西部の事例に関して」 ・岡本孝之「弘明寺条里の復元と遠藤直樹 大岡川流域の条里(2)」 <p>■『神奈川考古』第 54 号 2018 年 5 月 17 日刊行</p>

- ・鈴木次郎「細原型彫器と上ゲ屋型彫器—彫器からみた南関東のナイフ形石器石器群の多様性について—」
- ・御堂島正「黒曜岩製石器の落下痕跡」
- ・阿部友寿「関東南部における住居と墓の関係(4)—記憶と系譜」
- ・野坂知広「縄文後期配石墓群の再検討—神奈川県下の資料を中心に」
- ・松田光太郎「古代以前の粘土採掘坑と採掘粘土—関東地方東部の事例に関して—」
- ・岡本孝之「大岡川流域の条里」
- ・眞鍋早紀「北海道におけるヒグマ儀礼について」

■『神奈川考古』第 53 号 2017 年 5 月 28 日刊行

- ・鈴木次郎「寺尾遺跡第Ⅱ文化層の追加資料」
- ・杉山浩平「三浦半島海蝕洞穴遺跡の空間利用の変遷」
- ・阿部友寿「関東南部における住居と墓の関係(3) —住居と墓の対比—」
- ・川嶋実佳子「古代相模国における墨書土器の様相—『かながわ考古学財団調査報告』から—」
- ・御堂島正「黒曜岩の凍結融解実験」
- ・小林秀満・高橋香・井関文明「寒川の奈良・平安時代の人々の暮らし」

■『神奈川考古』第 52 号 2016 年 5 月 20 日刊行

- ・御堂島正「黒曜岩製石器の製作痕跡—剥離具との接触による微視的痕跡—」
- ・白石浩之「日本列島における尖頭器文化の存否論と尖頭器文化の確立」
- ・阿部友寿「縄文時代における獣骨と人骨の近接検出例」
- ・阿部友寿「関東南部における住居と墓の関係(2)」
- ・野坂知広「縄文後期配石墓群の基礎的研究 神奈川県下の資料を中心に」
- ・山本暉久「縄文後・晩期社会論—住居・集落・社会の複雑化—」

- ・梅川光隆「巻き包みの壺」
- ・高橋香「相模における後期・終末期古墳と初期寺院の諸問題について(1)」
- ・梅川光隆「かはらけの成立」
- ・大上周三「紡錘車からみた製糸活動の一端—古代相模の場合—」
- ・岡本孝之「逆川の再検討—その変遷と調査研究のあゆみ—」
- ・富永樹之「大量に捨てられた古代の灯明皿 南関東の事例を中心に」
- ・山口正紀「鎌倉の災害痕跡 発掘調査事例からみられる天災・人災」
- ・天野賢一「伊勢原市域における近世の道状遺構について(1)」
- ・小林秀満・柏木善治・井関文明「さむかわの古墳」

■『神奈川考古』第 51 号 2015 年 5 月 18 日刊行

- ・御堂島正「ダートか矢か—石器の計量的属性に基づく狩猟具の判別—」
- ・三瓶裕司「石器器種と共伴遺構からみた神奈川の草創期」
- ・阿部友寿「関東南部における住居と墓の関係」
- ・柏木善治「境界のこと—古代における旧相模国・武蔵国界を参考に境界の可変性をみる—」
- ・岡本孝之「愛甲郡の条里—小鮎川の瀬替と田村堀の開削—」
- ・小林秀満・井関文明「宮山中里遺跡における環濠集落」
- ・小林康幸「鎌倉・建長寺出土瓦の検討—鎌倉時代中期・後期の基準資料に関する分析—」
- ・富永樹之「相模川流域の中世瓦採集地と経塚—分布域から推定される背景—」
- ・高橋香「厚木・海老名市域における中世瓦の傾向について」

■『神奈川考古』第 50 号 2014 年 5 月 14 日刊行

- ・高屋敷飛鳥「模野台地における後期旧石器時代前期の剥片剥離技術」
- ・伊藤恒彦「地域間に於けるナイフ形石器群の類似とその評価—畑宿産黒曜石を多用する石器群の様相—」
- ・阿部友寿「住居址に伴う配石と墓坑」
- ・山本暉久「中部山地における柄鏡形敷石住居の終焉」
- ・岡本孝之「吉石型石剣試論—いわゆる有孔石剣の再検討—」
- ・大上周三「相模の木製紡織具—古墳時代中期から奈良・平安時代—」
- ・村田文夫「武蔵国橘樹郡衙周辺の歴史的な景観考—久本村条里水田遺構の復元と「皮古造免五段」の地平—」
- ・長澤保崇「神奈川県の水田址(1)」
- ・松葉崇「三浦半島のやぐら」
- ・澁谷正信「津久井城跡馬込地区出上の陶磁器・土器について」

■『神奈川考古』第 49 号 2013 年 5 月 24 日刊行

- ・田村良照「朝光寺原式の属性(後編)」
- ・新倉香・依田亮一「高座郡衙・下寺尾廃寺周辺の集落景観と律令祭祀—小出川河川改修事業関連遺跡群の調査成果を中心として—」
- ・宇都洋平「柏穴付土台角材を使用する構造物について 都市鎌倉を事例として」

■『神奈川考古』第 48 号 2012 年 5 月 21 日刊行

- ・白石浩之「槍先形狩猟具の変化から狩猟文化を探る—2. 狩猟具とその様相—」
- ・御堂島正・藁科哲男「関東地方南西部における縄文時代中期遺跡出土黒曜石の原産地分析(3)」
- ・小池聡「神奈川の石製収穫具(1)—神奈川の出土例とその様相—」
- ・松葉崇「神奈川県に於けるやぐらの出土遺物様相(2) —

陶磁器の年代と出土量―

- ・天野賢一「近代遺跡出土資料の様相 2―山下居留地遺跡出土のドイツタイルについて―」

■『神奈川考古』第 47 号 2011 年 5 月 23 日刊行

- ・白石浩之「槍先形狩猟具の変化から狩猟文化を探る―1. 関東地方を中心とした岩宿 I 期の狩猟具とその様相」
- ・御堂島正・藁科哲男「関東地方南西部における縄文時代中期遺跡出土・黒曜石の原産地分析(2)」
- ・御堂島正・小池聡「神奈川県内の弥生時代遺跡出土石器の使用痕分析―小田原市久野山神下遺跡第 VII 地点の事例―」
- ・依田亮一「古代相模国における山川藪沢開発の諸相―鎌倉郡沼濱郷周辺の事例を中心として―」
- ・三瓶裕司「サンコロ石・天神丸―神奈川県三浦市初声海岸に打ち上げられた石垣用材―」
- ・天野賢一「近代遺跡出土資料の様相―山下居留地遺跡出土の煉瓦について―」

■『神奈川考古』第 46 号 2010 年 5 月 23 日刊行

- ・御堂島正・藁科哲男「関東地方南西部における縄文時代中期遺跡出土・黒曜石の原産地分析(1)」
- ・田村良照「東国最古の横穴墓を追って―上谷本第二遺跡 A・B 地区横穴墓群の再評価―」
- ・大上周三「古代集落の掘立柱建物跡の柱痕跡にかかる分析―相模国の田名稻荷山遺跡の場合―」
- ・依田亮一「相模国府域出土の東海産須恵器と施釉陶器―湘南新道関連遺跡の住居跡出土資料からみた在地産土師器との共伴関係―」
- ・松葉崇「神奈川県に於けるやぐらの出土遺物様相―陶磁器を中心として―」
- ・三瓶裕司「矢穴法量の変遷について―伊豆・箱根系安山岩の矢穴から―」

	※上記のほか、既刊号の一部では在庫もございますので、お問い合わせください。
連絡先	kanagawakouko@gmail.com
附記	ご購入3冊まではレターパックライトで郵送します(購入代金に加え送料 370 円をご負担いただきます)。4冊以上は着払い発送となります。